

# 会長就任挨拶



公益社団法人 北海道臨床工学技士会  
会長 大宮 裕樹

平素より、当技士会への運営と活動に対してご理解とご支援頂き、心より厚く御礼を申し上げます。

平成28年度総会を終え第4期役員へ改選となり、この度会長の任を務めることになりました。

当会は北海道臨床工学技士会として平成元年4月より初代会長井関竹男氏により団体設立、2代目真下泰氏が一般社団法人化の認可取得、3代目室橋高男氏が公益社団法人の認可取得をされ、歴代の役員の皆様のご功績に理事一同敬意を払い、その意思・情熱を引き継ぎ当会の発展に寄与していく所存であります。会員の皆様におかれましても会発展のため、ご理解ご協力賜り誠にありがとうございます。

さて、当会の会員数は平成27年度に1000名を超える大所帯となりました。北海道唯一の臨床工学技士の職能団体として広く皆様に認知していただき、そして学術的に向上できるよう様々な活動を展開しております。

近年、臨床工学技士に対する必要性は向上しつつあり、平成19年医療法改定により医療機器の適正管理として医療機器安全管理責任者の設置、平成22年医療報酬改定にて透析液水質管理加算の新設、呼吸ケアサポートチーム加算の新設、業務指針として喀痰等の吸引、動脈留置カテーテルからの採血が認可、平成26年には特定集中治療管理料が新設され臨床工学技士の常駐化という条件が盛り込まれました。

これからも未来の臨床工学技士のために地位向上、職域拡大となるよう一丸となり社会に貢献する必要があります。

医療機器の安全管理や適正使用に関する情報発信や一般の方向けの講演会と学術技能の向上および資質向上を両立し、公益社団法人として北海道民へ還元しなければなりません。

関係各位の皆様におかれましては、北海道臨床工学技士会の活動とこれからの発展にご協力とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

2016年6月吉日